

赤間地区コミュニティだより

第2号

平成16年8月1日

発行/ 赤間地区コミュニティ運営協議会広報委員会

TEL・FAX/ 0940-32-5640

印刷/ 企画 萌

TEL 0940-32-5662

http://www.munakata.jp/wawawa

美台・田久・栄町

石丸・徳重・波越・三郡丸団地

山崎・山崎・山崎・山崎・山崎・山崎・山崎・山崎・山崎・山崎

平成十六年度

運営協議会総会を開催

代議員五十名出席・三時間にわたり熱心に審議

赤間地区コミュニティ運営協議会の平成十六年度総会を、五月二十三日午後二時から、赤間の働く女性の家で開催しました。総会は、各行政区から選任された代議員五十名出席（定員六十九名・内十九名委任状）のもと、来賓として原田市長、田中・新留両地元市議会議員、市コミュニティ課藤岡課長を迎え、代議員の中から、赤間の永嶋正清氏が議長に承認され、議事を行いました。

①平成十五年度事業報告・決算・監査報告を承認
第一号議案平成十五年度事

業報告、第二号議案平成十五年度決算を吉田事務局長が提案説明、藤田監査委員の監査報告のあと二、三の質疑があり、賛成多数で承認されました。

②平成十六年度事業計画・予算を原案承認

第二号議案平成十六年度事業計画及び第四号議案平成十六年度予算案について吉田事務局長が提案説明。小福社会関係、犬の糞害対策、青少年育成部会の予算内容について質問があり、それぞれ部長が答弁。両議案とも賛成多数で承認されました。

③協議会規約改正案

構成団体の内容で激論

第五号議案協議会規約の改正について吉田事務局長が提案説明。特に十八行政区の代表である区長と、赤間地区まちづくり推進協議会のメンバーを全部会に配置する案の別表組織図について、「民主的な運営をするためには行政区の代表中心で構成すべきで、特定の人が役員を長くする等の弊害の恐れがあるまちづくり協議会は構成団体から外すべきだ」との強い意見が出されました。

執行部は答弁で

コミュニティ協議会は区長会をはじめ十七の団体で構成していますが、その大部分の団体の役員の任期は一年であり、その結果、コミュニティ

協議会の役員、運営委員、各部会のメンバーの大部分が、一年で入れ替わるという状況で、毎年継続して実施するコミュニティ事業の運営に支障を来してあります。したがってまちづくり推進協議会を地域づくり部会の構成団体に入れた理由として①過去のまちづくり活動の中で熱心に活動された、区長会や各関係団体のOB等の経験豊かな方々にお願いして残っていたら、各部会のメンバーの入れ替わりをカバーしている。②大道芸まつりの等のイベント支援事業に中心的役割をもっている。③本年度は「赤間地区歴史・観光ガイドブック（二百ページ）」の編集発行を担当している。したがって構成団体から除外することは活動に支障を来すこととなります。

総会では激論の結果、一応賛成多数で原案承認され、本年度の検討課題として運営委員会等で検討することとしました。

④平成十六年度

役員を承認

役員選考委員長藤岡満壽男氏（委員十六名）から役員選考結果の報告があり、選考どおり賛成多数で承認されました。（次頁で紹介）

引き続き役員紹介と、西山会長の挨拶があり、三時間にわたり熱心に審議された総会を閉会しました。



原田宗像市長



運営協議会総会

役員紹介

会長 西山 功

赤間地区五期十年、この間市長会長等を勤めた経験を生かし、コミセン建設計画策定に努力したいと思えます。

副会長 占部 玄海

まちづくり協副会長として振興計画を編集、本年度はガイドブック編集に取り組みます。

副会長 林 利雄

赤間地区区長会長としてあり、今年度は副会長としてコミュニティのためにがんばります。

事務局長 吉田 義男

市役所退職後市史編纂に八年、まちづくり協設立に参画、経験を生かし、コミセン計画策定やガイドブックに挑戦します。

公民館活動部長 成富 成勇

公民館地区連合を中心に赤間地区の活性化に努力しますの、ご協力を願います。

青少年育成部長 高原 弘文

四塚を見渡す田久の丘に半世紀暮らしており、便利さを憂う日々です。

健康福祉部会長 井手 新
理学療法士として、福祉の現場で働いている経験を生かし、福祉の街づくりをしたいと思っています。

環境整備部会長 尾仲 正

環境整備部会長の尾仲正です。赤間地域の環境保全と向上に努力したいと思えます。

地域づくり部会長 出光 重美

まちづくり協唐津街道部会長(元商工会地区長)として大道芸まつりを担当、今後まちづくりがんばります。

会計 和田 弘隆

富地原に住んでいます。今年度から役員になり、赤間地区のためにがんばりたいと思っています。

会計監査 赤司 勇

葉山の赤司です。地区シンボルのコミセン建設に少しでも尽力できれば幸いです。

会計監査 高原 昇

初めて役員になりました。皆様と交流を深め、よりよい地域づくりのためにがんばります。

会長就任にあたって

会長 西山 功



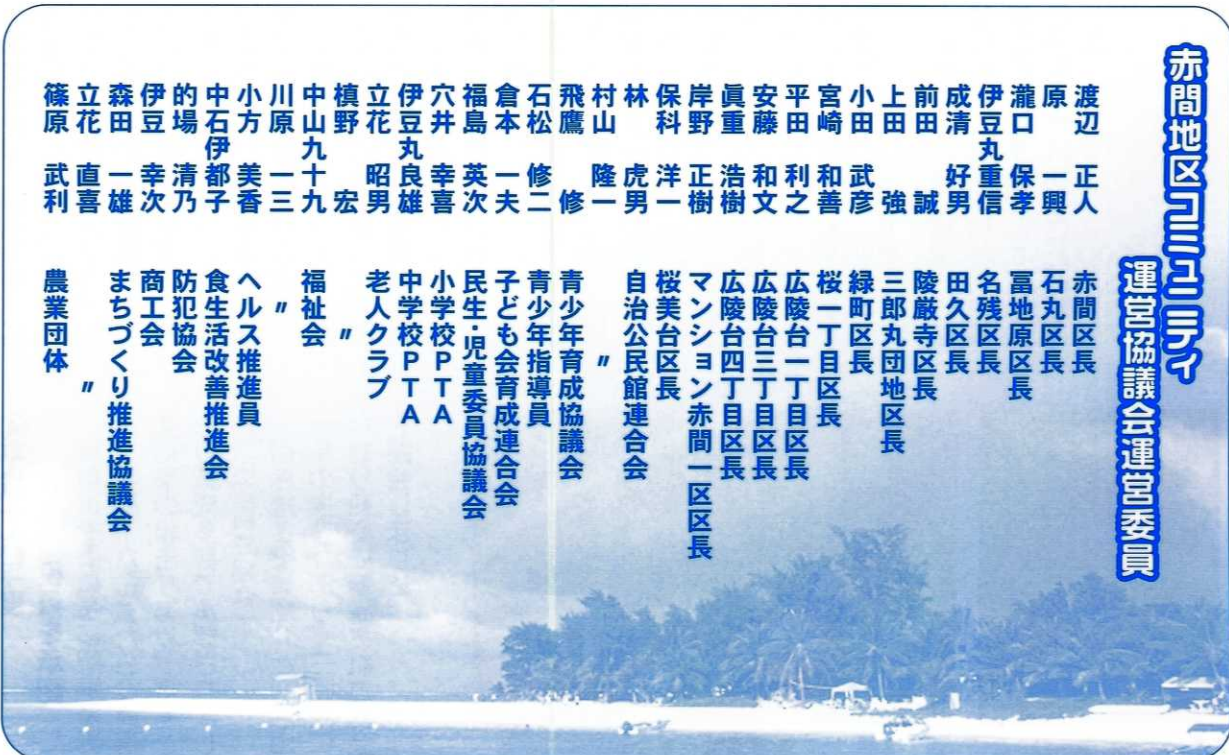
昨年十月に産声をあげてやつと半年、部会を始め何とか組織づくりが出来、これから本格的なスタートです。総会で、もう一年やれ！と会長に再任されました。部会を中心に、各事業を計画的に実施するため、役員、部会員のチームワークを大事にして推進したいと思えます。本年はコミュニティ・センター構想を練り上げるため、ワークショップを開催、皆さんの意見や要望を十分聴きたいと思えます。

また、赤間地区歴史と観光ガイドブックを発行する計画です。私も区長会から開放され、今年フリーで頑張ります。校区の皆様のご支援、ご協力をお願いします。

赤間地区コミュニティ

運営協議会運営委員

- | | |
|--------|-------------|
| 渡辺 正人 | 赤間区長 |
| 原 一興 | 石丸区長 |
| 瀧口 保孝 | 富地原区長 |
| 伊豆丸 重信 | 名残区長 |
| 成清 好男 | 田久区長 |
| 前田 誠 | 陵巖寺区長 |
| 上田 強 | 三郎丸団地区長 |
| 小田 武彦 | 緑町区長 |
| 宮崎 和善 | 桜一丁目区長 |
| 平田 利之 | 広陵台一丁目区長 |
| 安藤 和文 | 広陵台三丁目区長 |
| 眞重 浩樹 | 広陵台四丁目区長 |
| 岸野 正樹 | マンション赤間一區区長 |
| 保科 洋一 | 桜美台区長 |
| 林 虎男 | 自治公民館連合会 |
| 村山 隆一 | 青少年育成協議会 |
| 飛鷹 修 | 青少年指導員 |
| 石松 修二 | 子ども会育成連合会 |
| 倉本 一夫 | 民生・児童委員協議会 |
| 福島 英次 | 小学校PTA |
| 穴井 幸喜 | 中学校PTA |
| 伊豆丸 良雄 | 老人クラブ |
| 立花 昭男 | 福祉会 |
| 槇野 宏 | " |
| 中山 九十九 | " |
| 川原 一三 | ヘルス推進員 |
| 小方 美香 | 食生活改善推進会 |
| 中石伊都子 | 防犯協会 |
| 的場 清乃 | 商工会 |
| 伊豆 幸次 | まちづくり推進協議会 |
| 森田 一雄 | " |
| 立花 直喜 | 農業団体 |
| 篠原 武利 | " |



公民館活動 部会

当部会は、会員数二十名と多く、各地区の声が反映されるように構成されています。

- ① 部長・成富成勇(公)、副部長・馬場喬(まち)、書記・村山隆一(公)、会計・永家勝人(公)、広報委員・仲尾等(まち)、林虎男(公)、梅田正幸(公)、高原義正(公)、小洞俊郎(公)、吉田光宏(公)、真武峰雄(公)、内藤吉博(公)、一岡晴幸(公)、高木智行(公)、安藤和文(区)、真重浩樹(区)、高原昇(区)、岸野正樹(区)、宮崎和善(区)、保科洋一(区)。
- ※公は「自治公民館連合会」、区は「区長会」、まちは「まちづくり推進協議会」の略です。
- 今年度の事業は、
- ① お手玉と遊ぼう
七月半ばから八月末まで
- ② グラウンドゴルフ大会
九月十二日(日)
城山中学校グラウンド
- ③ 城山ふれあい登山
十一月十四日(日)
- ④ 歩こう会
十二月五日(日)

青少年育成 部会

地域ぐるみの子育てを合い言葉に青少年育成部会は

- ① 親子啓発映画鑑賞
 - ② 地域パトロール
 - ③ 不審者対応啓発・抑制看板作成
- の三点事業、部会構成は
- ① 区長会
(瀧口保孝、成清好男、小田武彦)
 - ② 青少年育成部会
(永野芳宣、石松修二)
 - ③ 子ども育成連合会
(会計・北原由美子)
 - ④ 赤間小学校 PTA
(穴井幸喜)
 - ⑤ 城山中学校 PTA
(伊豆丸良雄、広報・古里百合子)
 - ⑥ 主任児童委員
(安部洋子、永田みどり)
 - ⑦ まちづくり推進協議会
(白木博子)
 - ⑧ 青少年育成協議会
(秋山秀明、高原弘文)
- 十五名の育成団体代表の誠意をもって奮闘中です。

健康福祉 部会

健康福祉部会は、次の八団体、十三人の会員を中心に活動しています。福祉会(副部長・中山九十九、今西良一)、民生・児童委員協議会(福島英次)、ヘルス推進員(小方美香、栗田佳子)、食生活改善推進会(中石伊都子)、老人クラブ(立花昭男、横野宏)、区長会(部会長・井手新、前田誠、平田利之)、体育指導員(出光莞爾)、まちづくり推進協議会(会計・児崎彰雄)

- 今年度の事業は、健康福祉講演会(ボランティア養成、基礎的ネットワークの創り方、健康は食が創る)、視察および交流研修会(赤間西地区コミュニティ、先進小福祉会、バスハイク)、世代交流事業(昔の遊びテキスト作成、赤間小ゲストティーチャー)、食で健康づくり(生活習慣病予防と食、親子で作る楽しい料理)等を予定しています。

環境整備 部会

環境整備部会員を紹介し、部会長・尾仲正(区長会)、副部長・伊豆丸重信(区長会)、会計・的場清乃(防犯協会)、書記・大和一弘(消防団)、広報委員・兎洞孝義(消防団)、部会長・上田強(区長会)、永島勝次(交通安全協会)、松尾百合雄(交通安全協会)、村山隆一(防犯協会)、川原ヨシ子(まちづくり推進協議会)

- 今年度の事業計画
- ① 釣川清掃活動
平成十七年三月六日(日)実施予定
- ② 花による美化運動
プランターに花苗を植え、地区内の公共施設に設置。
- ③ 防犯チラシ作成
悪徳商法・強引な訪問セールスの対応策など
- ④ 先進地視察研修
七月八日に甘木市視察研修を実施
- ⑤ 講演会の開催
年2回予定
- ⑥ 犬の糞害対策



地域づくり 部会

部会長・出光重美(まちづくり推進協議会)、副部長・林千次郎(商工会)、書記・占部玄海(まちづくり推進協議会)、会計・原一興(区長会)、広報委員・神山義信(商工会)、部会長・渡辺正人(区長会)、伊豆幸次(商工会)、篠原武利(農業団体)

- 今年度の事業計画
- ① 赤間地区歴史・観光ガイドブック編集発行事業
赤間地区の十八行政区を地図や文章で紹介。地区の歴史・観光・自然・公共施設さらに人物・祭りや行事などイベント・年表等を約二百ページの冊子にまとめ、皆さんのガイドブックとして、約三千冊発行する予定です。予算百六十五万円の内、五十万円は市の助成金が内定。残りは協賛金を集めて財源とします。
- ② 大道芸まつり・赤間宿まつり等のイベント支援
商工会や関係団体と図って実行委員会を設置。大道芸は九月二十三日。赤間宿まつりは二月に開催予定です。



赤間区

宗像大宮司家の居城があった城山の山麓を、緩やかな勾配で北から南へと続く街道沿いの町。唐津街道沿いの宿場で、筑前二十一宿の一つ。街並みは瓦葺きの塗籠の町家が多く、平入と妻入の両方が混在し変化に富んでいます。

呉服、金物、乾物などさまざまな店が軒を並べ、「嫁入道具が一式揃つ」といわれ、町全体が総合デパートでもありました。

明治二十三年に鉄道が開通し、赤間駅が離れた地にできたため、往時の繁栄が色あせていきました。

昭和四十年に、福岡教育大学が、昭和六十三年には、JR教育大前駅ができ、通勤通学の便がよくなり、活気を取り戻しています。

街道周辺の水田も宅地やアパートが建ち並ぶ。町内には、

神社や仏閣もあり、古式豊かな祭も息づいています。古さと、新しさを兼ね備えた文教の町でもあります。



勝屋酒造附近

陵厳寺区

宗像市の北側に聳える城山のふもとに広がる集落が陵厳寺区です。区民約五百世帯。歴史的伝統と近代文化、古くからの区民と新しく転入して来た区民がうまく融合した、モデル的な地区です。

区のある中心にある羅神社の「新年祈願祭・夏祭り・夏越祭・山の神・お日待ち」の祭礼が区を挙げて古式通りに行われる一方で、高樹山公園では「まつり陵厳寺・区民体育祭」が盛大に催されています。

福祉会の「ふれあい会食会

(毎月)・独居高齢者の見守り活動(常時)・手芸教室・福祉会(毎月発行)、「公民館・育成会・ヘルス推進会の「親子磯釣り大会・餅つき大会・男の料理教室・グラウンドゴルフ練習会(月二回)」、子ども会のリサイクル活動(隔月)等々の行事の殆どが恒例化して『活気溢れた区』です。



蘿(つた)神社から城山を望む

葉山区

葉山区は、旧大字徳重地区内に住宅公園が開発し分譲した約六百戸の団地で、北九州市や福岡市から移り住んだ人たちも多く、昭和四十七年一行政区として誕生しました。当時は三十代〜五十代の若さと希望にあふれた家族が中心

でした。子どもたちも多く子ども会の行事ともなれば二百五十人を越す大集団となり、大変な賑わいでした。しかし、歴史の刻みに合わせて来ように、子どもたちも減少し、反面高齢化の加速は著しく、現在五百七十五世帯、人口一千四百十四人の内六十五歳以上の高齢者四百八十七人、高齢化率三四・四%と、まさに典型的な小高齢化団地となりました。高齢者に適したまちづくりを目指し、区の目標「人の和とふれあいを大切に美しい環境で生き生きとした葉山にしよう」に向けて、区行事、公民館活動、福祉会等の諸活動を通して皆で支えあう気持ちで街づくりをしています。



葉山大通り

編集後記

総会から二ヶ月近くが過ぎようとしています。広報紙『話・和・輪』の発行は年三回の予定です。第二号発行は八月です。

気がつけば今日は七月の某月曜日、急いで作成しなければと、広報委員一同捻り八チマキでがんばりました。

今回は、総会の雰囲気を紹介するために写真を掲載しました。読者の皆様の反響がよければ、いろいろな写真を掲載していきたいと思っております。希望などありましたら、事務局までご連絡ください。

次の第三号が無事発行できるか、今から眠れない毎日が続くかもしれません。心配性の広報委員より

平成十六年度広報委員
占部玄海・井手新・仲尾等・古里百合子・小方美香・兎洞孝義・神山義信・吉田義男・清水睦美・實田照香

